

問9 「社会福祉協議会」にどのようなことを期待しますか(記述式)

四、回答数及び回答率

回答数：三〇五件
回答率：六六%

五、記述式回答にみられる「社協」へのメッセージ

【何をしているところか】

- ・ボランティアから
- ・市民の直接の声を聞き、それを支えることをするところ。たくさんの方が参加して(媒体者になつて)まちづくりをしていくところ。切り捨てをしないところ(行政でできないことをするところ)
- ・民生委員から
- ・行政の手の届かないところを、住民の力で補うための協議をするところ。行動に移す手立てをするところ。(ボランティアを養成したり、福祉講座をもつたりして、住民に福祉の手だてをするところ)

〈福祉課職員から〉

- ・地域福祉を支える実働部隊兼先進性を求める機関。

〈保健婦から〉

- ・地域の中に「福祉社会」(ノーマライゼーション)を広げる活動をしていると思います。ボランティアの活動拠点。

〈ホームヘルパー〉

- ・住民を主体にした福祉事業団

体。住民お互いで助け合っていくために、行政ではできないことをしている。

〈福祉施設職員から〉

- ・①社会福祉協議会の名に示されているように地域社会福祉の総合的活動といえる。②地域の人々が集まって話し合い、方向性をまとめ、実践していくための拠点と見える。③地域情報が集まりやすいところ、すなわち調査機関。④行政への働きかけ(民間の状況等の調査から)

〈社協理事から〉

- ・住民の中からじみでてくる諸々の福祉問題を住民自身の福祉活動とし、培っていく。住民福祉活動の拠点。福祉ニーズの把握(調査)とその具現化。

・ゆりかごから墓場までを目標に住民に光の当たる福祉行政の実践の場である。

【福祉事務所・福祉課との違い】

〈高齢者から〉

- ・社会福祉協議会は活動的である。福祉事務所・福祉課は事務的なことをするところのように感じています。

〈障害者から〉

- ・地域に根差した活動拠点と思われるが活動の成果が小さく、住民と身近にながら指導者不足を感じる。住民からすれば役所へ相談へ行く方を優先。社協の存在すら

薄い。

・福祉の相談窓口であれば市民に分かるようにする必要あり。

〈健常者(高齢者、障害者を除く)〉

- ・社協と福祉課は、やっていることは同じだと思ふ。社協の方が福祉にずっと携わっている人なので、話しやすいと思う。そのため福祉課は何年かずつとかわり、何も知らない人がいる。福祉事務所は知らない。

〈ボランティアから〉

- ・福祉事務所：感覚が行政的な考え方で、住民が欲していることに對して迅速に対応してくれない。社協：常に当事者の立場に立つて親身になって相談ののつてくれ常に解決の糸口を探ろうと努力している。

〈民生委員から〉

- ・福祉事務所は、実施主体を重視し、発想の取り上げが困難。行動の中が限定される。時間がかかる。社協は相当自由に論議し、民間の意見をすいあげる力がある。行動の幅が広く地域福祉を広めるならばここからがよい。

- ・法人化など自立性をもって運営し、努力しているが、運営費用、役場の指導性が残存するなど、本来の姿に至っていない。現在社協に福祉行政的なものを求めているが、財政的なもの、また指導性があまりうまくいかない。特に福祉

センターと同時に深く求められている。社協本来の任務。

〈福祉課職員から〉

- ・社協はやや民間的なところがある。

- ・行政の委託先としてホームヘルパーなど実際のサービスを提供しているのが社協であると考えます。

- ・社協は、民間の福祉活動を推進する組織であり、あくまでも自立したものである。行政は、国、県、市の方針に基づいて福祉行政というものを推進するところである。

〈保健婦から〉

- ・社協、住民がやりたいと思うことを法的制約を受けずに実施できるところ。

- ・社協：問題提起、調査研究。行政：政策企画。

- ・社協はあくまで行政の外郭団体。行政の枠にとられないで仕事ができるところがよい。

〈ホームヘルパーから〉

- ・社協：香典返しをもつていく所。一部の年齢層にはとても大切な機関だと思ふが、仕事のには明確でない。福祉事務所：福祉の専門家の集まり。

〈福祉施設職員から〉

- ・社協：福祉について行動(活動)し、支援(相談、援助)する所。福祉事務所：福祉について事務的な手続きをする所。福祉課：福祉

についていろんな相談をうける所。
・会社組織でいうならば本社と支社のような関係ではないでしょうか。

〈社協理事から〉

・行政、社協、地域と三位一体となって福祉推進するわけですから、それぞれの役割分担を行い、共同推進連携の働きが必要である。市民の相談に、問題解決してくれるか、くれないかの違いなどがある。

〈社協職員から〉

・あまりよくわからない組織。
・社協は行政の下請けみたいなもの。

【社協へ期待すること】

〈高齢者から〉

・余り先走りしないで、よく理解をしてもらって物事を進めることができるか。実際に実行と周囲の協力につながる。関係する皆とよく語りあいよりよい方向にまとめることが大事だと思っています。

〈障害者から〉

・現在の社協の機能を考えると行政に左右されて独自の福祉施策を推進してゆくだけの力が備わっていない。地域福祉の向上を目指すために行政に対して強力な発言力をもたせるような社会福祉協議会をつくりあげるべきだと常に感じている。

・独自の仕事の活性化のため、職員研修必要。どのような仕事に對

してもこれできていないと成果はなし。人による人のための仕事は働く仲間を支え人材育成第一(定期的研修含む)。地域に根差した活動のためには社協が一番と思われる。そのためには人が必要。

①市民の立場に立って活動をしてもらいたい。運営資金など「行政」に余り頼らず自助努力で運営してほしい。「独自色をだしてほしい」。

②障害者を積極的に雇用してほしい(障害の程度に関わらず)。

〈健常者(高齢者、障害者除く)から〉

・協議会へは老人がいくところではないかと若人が感じているのではと思うときがあります。ここいらの改善があればいいと思います。
・社協は本来、行政と批判的に協力し合うのだろうが、今の社協をみていると行政になめられている。我々が知ろうとすることも必要だろうが、その気にさせる。福祉の問題意識を持たせる努力が一二〇%必要だし、そのことをせず職員が勉強するべきだ。

〈ボランティアから〉

・市民に「社協」の存在を活動内容をもっと知ってもらう必要あり。知ってもらうことよって行政には求められない(または無い)。親切で適切な対応が可能となる。また、市民が今何を求めているかを把握し解決の方策を講じていって

もらいたい。もつと社協の職員を増やしてほしい。

・社協の職員自体がボランティア精神がないと思います。これでは、ボランティアをする人たちの気持ちあまり理解してもらえないと思います。サラリーマン的では困ります。

・本当は社協独自の活動をしてほしいのですが、活動資金も少ないため、思いきった活動ができない。弱者の把握ができない。

〈民生委員から〉

・福祉活動職員の増員と給与面の全県統一はできないのでしょうか。
・ボランティア活動の組織づくりを大きく強力にしていきたい。

〈福祉課職員から〉

①民間組織としながら行政からの補助金や半強制的な住民会員組織の負担などに頼っていて、自主的な経済基礎が築かれていない。
②住民に対してわかりにくい組織でありその活動や役割がみえにくい。

〈保健婦から〉

・事務局長が天下り人事のことが多く、行政に対する発言力が弱い。職員が固定してくるので、人事交流を推進したほうがよい。職員やヘルパー等に対する研修を充分にしたほうがよい。

・ボランティアを紹介してほしいという問い合わせなどを聞くこと

も多くなってきました。また、その内容も多種多様になってきていると思いますので、その辺がこれからお互いに話し合ったりしていかなければ難しく大変なのではないかなあと感じます。

・もつと住民に開かれた協議会であつてほしい。今の時代に合った施策などを考えてほしい。

〈ホームヘルパー〉

・もつと地域にアピールをしてボランティア活動を活性化させてほしい。もつと福祉の充実に図るための運動を行ってほしい。
・香典返しの際で住民から聞いたことですが、香典返しはしたものの使途不明なので明細を多少なりとも知りたいとの声がありました。

〈福祉施設職員から〉

・福祉活動推進のため積極的に地域に溶け込むこと。老人福祉だけでなく、障害者福祉にも組織的に取り組む。社会福祉協議会の活動方針を啓蒙する。

〈社協理事〉

・社会福祉協議会は行政の下請け工事人

フリー トーク

あるお年寄りの

ケースから

田川市社協 西村 勝也

去る6月に、あるひとり暮らしのお年寄りが、脳梗塞で倒れた。こんな元氣そうな人かと思うような人である。このOさんは、3人の子宝に恵まれ子や孫に囲まれ、幸せな余生を送るはずだった。しかし、ふとした兄弟喧嘩を発端に大きく運命が変わってしまう事になった。

今では、炭坑のなごりがある炭住(炭坑で働く人の住居)で、ほそぼそと暮らし、週一回のホームヘルパーが部屋の掃除、買物などの世話をしている。

ある日突然、強い頭痛にさいなまれ懸命に痛みをこらえながら助けを待つが意識を失ってしまう。その2日後、ヘルパーに発見され、病院へ運ばれた。今は、後遺症が残り家庭での生活は困難となり、病院で治療が続いている。

他にも、天涯孤独のお年寄りは、住

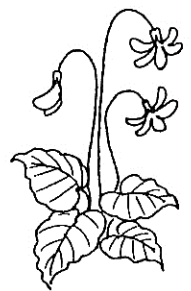
む家を持たず、ある駐車場のスレート
を屋根の代わりに利用して、ほうぼう
から廃品を集めて、生活をしている人
がいた。このお年寄りは、極度の栄養
失調による下痢と脱水症状で発見され
病院へ運ばれる事になった。

このケースから、今展開されている
在宅福祉サービスのもつ意味が、どれ
だけ充実されているのかは、疑問であ
る。例えば、住まいを持つ人は、ホー
ムヘルプサービスを受ける事は可能だ
が、そうでない人は、このサービスを
受けられないのが現状。

この在宅福祉サービスは、住まいを
持つ人のみが利用できる政策であり、
そうでない人は、対象外になってしま
うサービスに思えてならない。

今日の福祉施策は、誰もが安心して
暮らすという意味から遠くかけ離れ、
数多く上がってくるニーズにのみ対応
した、企画実施であると思う。本来、
福祉に限らず施策の企画実施は、様々
な問題を取り上げ、色々な角度から調
査研究して作成されるべきものであり、
こうした努力から、誰もが安心して暮
らすという事になるのではないだろう
か。

この事から、行政施策という網から
もれた人を社協がどうカバーするかが
社協活動の一つであると考えているが、
意外に後回しにされているような気が
するのは、私だけなのだろうか。



今、思うパートII

古賀町社協 渡 政喜

◆昭和六十二年にこの道に帰依(入社)
してちょうど十年が経った。

前回(二十五号だったと思う)に書
いたように、研修会に参加して激論し
ている先輩に出会い、「何という世界だ」
などと感じたのがつい先日だったよう
に思う。しかし、最近の会議や研修会
の席でそれらしきこと(年だけが古株
になっている)を考えはあまりあるよう
ではない)を発言している自分にビッ
クリしている。

◆自分のことになると、四月十一日に
母(七十五歳)を亡くした。夜遊びを
して帰って来ると死んでいた。元気で
畑仕事をしたり、車を運転したりした
その夜風呂の中で死んでいた。多分心
筋梗塞か蜘蛛膜下出血だったのだろう、
風呂に入ったのが午後九時すぎで、発
見したのが午前四時半、溺死だった。
親不孝の限りだ。

悪いことは続くもので、六月十八日
に父が脳梗塞で入院した。左の手足が
しびれていて身の回りのこと(ADL)
がかなり低下して在宅介護がスタ

ートする。
現在家族は、諸事情で父と私と二十
二歳になる息子(社会人)との男ばか
りの三人家族である。

母のとき、「なんでよりによって風呂
の中なんかで事故があったんだらう。

風呂でなければ死ななくてよかったの
に」と悔やんだが、父の入院に直面す
ると、母は、家族のために闘病よりも
死を選んでくれたのかなと思ひ、ふと、

「死は、在宅福祉問題を解決するのに、
一番手っ取り早いことなんだ」と乱暴
な考えが芽生えて来る。

母の死には、親不孝をしたので父の
ときは、出来るだけのことをして悔い
のないようにしようと思うのだが、「病
院へ毎日来い」だの、「家のことをあ
だのこうだ」の口うるさく言うのを聞
けば、先程書いた諸事情のときに何を
言い何をしてきたのだと言いたくなる。
(どこも一緒と思うが嫁姑の仲はあま
り良い方ではなかった)

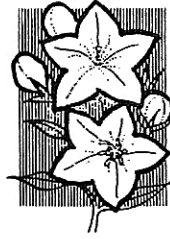
介護を受けるようになって可愛くな
るのはなかなか難しいので、息子に嫁
が来るのをきっかけに可愛い老人にな
るよう自分に言い聞かせている。

在宅介護をはじめに当って、ホー
ムヘルパーの派遣やデイサービスの利
用を考えるが、住んでる地域が農村地
区でもあり、近所に気遣っている自分
が情けない。

小地域を組織化するときに、「この地
域に住んでてよかったと思われる、地
域をつくりましょう」とか、在宅福祉

を進めるときに「利用者のニーズに添った内容を、また、利用者を中心に据えた考え方で」などを言う自分が恥ずかしい。

◆私の「人生ドラマ」を画面で見ている誰かが、会議や研修会などでそれらしきことを発言している私を見て、「おい渡くん、わがことも出来んといへばつやーなことば言いとや、社協マン失格やぞ」と言われているような気がして仕方のない今日この頃である。



社協よ

どこへ飛んで行く

久留米市社協 古賀 正博

私が社協へ入ったころは、社協の民間性や専門員の活躍のすごさに毎日、驚かされました。また、仕事の幅広さや住民主体の考えなど大学で何も勉強せず民間企業から就職した私には大変ギャップがありました。そして、回りの人によく言われたのは「三年間は使いものにならない。(今も使いものになりませんが...)」といわれていました。現在、福祉八法の改正やゴールドプラン、公的介護保険に振り回され続け、本来の住民主体、社協の民間性を忘れ

ているのではないのでしょうか。今までの社協は住民主体と民間性のもと専門員を中心に住民と一体となって福祉活動に取り組んできたと思います。その活動の素晴らしさがあつたからこそ在宅福祉事業の委託があつたのではないかと思います。これからの社協は、組織的にも大きくなり様々な職種の人が働く場になるでしょう。

そんな時だからこそ個人の力量が問われるのではないのでしょうか。みなさん、勉強してですか。私がいつも思うことは「わたしは社会福祉協議会の職員であり、福祉センターの職員ではない」ということです。社協本来の地域の問題を調査、把握し住民と一緒に問題を考え解決し、行政に働きかける存在でなければならぬと思います。そうでなければ、単なる行政の下請けになってしまい、これからの目標が見えなくなるのではないのでしょうか。社協から住民主体という社協らしさが消えたとき社協の存在もなくなるのではないのでしょうか。言いたい放題言いますが何かいつも心の中にひっかかっていることです。



フリートーク

小郡市社協 中島 輝光

去年から幼稚園に行き出した上の娘が、春休みに入る前のことである。

「どこかに連れてって。〇〇ちゃんはずいぶんランドに行くよ。私もどこかに行きたい。この前(冬休み)もどこにも行つたらんけん。」と、いつい来かと思うくらい久しぶりにねだつた。一週間ぐらい嫌になるくらい毎日言つていたが、諦めたのか言わなくなつた。

結局、春休みの間、遊びに連れていくことができなかった。春休みが終わる日の夜、

「先生に『春休みどこに行きましたか。』と聞かれたらどう言うよ。」と聞いてみた。

「どこにも行つたらんけん。」と、娘は、そっぽを向いて言つた。

TVで神戸の連続児童殺傷事件のニュースがあつたときのことである。

「わたしがこうなつたら(死んだら)パパはどうする。」と、娘がふと尋ねた。

「まだ、妹がいるけんよか。」冗談で、思わず言つてしまった。

「……………」言葉が返つてこない。顔を見ると硬直して涙ぐんでいた。

「じょうだん、じょうだん。こうならないように気を付けやんよ。」

「……………」返事がない。

「泣いて、泣いて、生き返るなら幾らでも泣くよ。」

「……………」返事がなかった。幼稚園も夏休みに入る日、

「夏休みはどこか行こうか。」と聞くと、「当てにはしとらんけんよか。」と、娘は冷めた返事だつた。

娘からすれば、さぞかし父親はお願いしても「期待できないパパ」として見えているに違いない。

毎朝、自分より早く起きる子供達は、静かに静かに、部屋から出て行く。起きさないようにと気遣う子供達に、甘える「期待できないパパ」である……ふれあい、ふれあいと言いながら自分の子供とさえ、ふれあひもとれていないのに、福祉に携わる資格は有りま

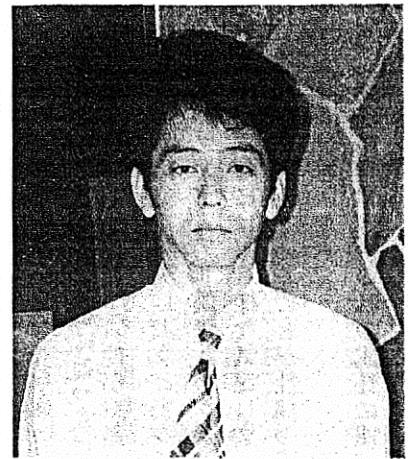
すか？ やさしい言葉を期待しているのに、期待している言葉も言えなくて、知らず知らずのうちに、人を傷つけることを言つていませんか？

「当てにはしてない。」と、一市民から社協の職員として言われたらどうしますか？

と、児童福祉が大いに欠けている私に、福祉を求め、福祉を問う掛け、福祉を諦めかけている愛娘がここにいます。

「期待できないパパ」の近くで、ちょこんと座つて……。

新人紹介 明日花咲け



吉富町社会福祉協議会 原 義則

○経験年数 一年三カ月
○趣味 週末はバイク人
○メッセージ

平成八年五月より吉富町社会福祉協議会で事務職員として勤務しております。

社会福祉事業に携わり一年以上になりますが、経験不足の業務の為に事務所の方や各団体の関係者の方々に迷惑ばかりかけています。私がこの一年程をふり返って感じていることは、地域福祉を主軸にした事業内容の大切さ、奥深さを改めて考えさせられたような気持ちです。

ここ吉富町は人口七四七九人という小さな町で、現在の高齢化率は18%程であり全国平均値を3%程上回っているという状況になっています。今後将来に向けて社会福祉制度の改革が進められる中において、多種、多面的な福祉ニーズが求められることと思われ、社協の果たす役割とい

うのも益々大切になってくると実感させられました。

昨年まで「福祉」とは無縁の業界で過ごしてきた私ですが、現在社会福祉主事資格取得の為、勉強中の今日この頃です。まだ駆け出しの未熟者ですが皆さんのご指導を賜りながら地域福祉に取り組んでいきたいと思っています。



久留米市社会福祉協議会 三原 洋子

○経験年数 5カ月
○特技・趣味 水泳、シヨッピング
初めまして、平成9年4月より久留米市社協の地域福祉課に勤務することになりました三原と申します。

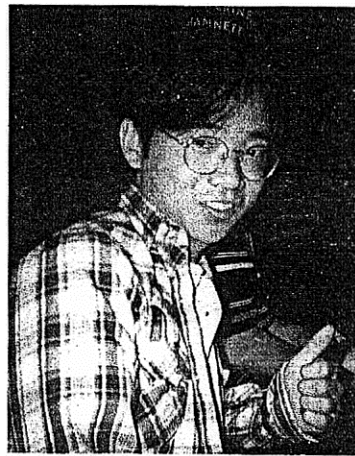
現在、主にボランティア活動保険を担当しておりますが、久留米市民のボランティアに関する関心度の高さには、驚かされます。特に、高齢者の皆さんにおいては、積極的に充実した日々を送る努力をされており、息の長いボランティア活動を続けてあります。

高齢化社会の現代においては、個人個人が自分のライフスタイルを見直し、遠くない将来に、必ず高齢者になると

いう自覚を持ち、難しいことですが、いつも、自分の身になって考えることが大事だと思います。

2000年度からは、公的介護保険制度がスタートしますが、老後に対する不安を社会全体で支えることができるとか、また、介護の必要な障害者に対する支援体制はどうなっているのかという問題があると言えます。

大学では福祉を専門に勉強したわけではないので、何も分からなくて焦ることもありすが、多くの人達に出逢い、色々なことを勉強させてもらいながら、社協のお仕事に一日も早く慣れるように、頑張りますので、皆さん、ご指導のほどよろしくお願い致します。

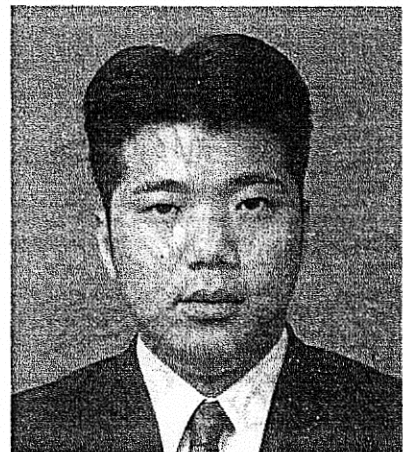


玄海町社会福祉協議会 前田 恵二

○経験年数 四カ月
○年齢 二十四歳
○特技 学生ボランティアに間違えられないこと。
○メッセージ

何も分からない未熟者の私ですが早く先輩方のような、立派なキャンブラーじゃなくて、社協マンになれ

るようがんばります。よろしくお願致します。



夜須町社会福祉協議会 甲斐 智英

○経験年数 一年五カ月
○特技・趣味 スポーツ・アウトドア
ライフ

○仕事への抱負
夜須町に居住して十五年といった自分ですが、夜須町社会福祉協議会に勤めさせて頂くようになって初めて知ることと少なくありません。社会福祉協議会での仕事は多種多様であり、その為重要な役割を占めている機関であることを痛切に感じます。まだまだ勉強不足であり、ぴかぴかの一年生です。

職場の方や関係する機関の方へ、ご迷惑をおかけしていると思いますが、これからいろいろな面で勉強又は経験を積んで、体を動かすことおしませ住民のニーズに答える福祉活動が、展開できるような社協職員になっていきたいと思しますので、ご指導よろしくお願致します。



大任町社会福祉協議会 山本 政俊

- 経験年数 一年四カ月
- 趣味 読書 テニス
- メッセージ

平成八年五月から大任町社会福祉協議会事務職員として勤務しております。

現在、共同募金・ボランティアセンター・老人クラブ・社協一般事務等を担当していますが、まだまだ未熟で失敗ばかりしています。そんな時は、「エヘ。」笑って誤魔化しています。

「福祉」についての知識も経験も無い私と思うのは、本町の福祉への不安です。「年をとっても良い目に合いたいし、事故や病気で障害を持つても良い目に合いたい。」と考える私にとって、今の現状、特に福祉に対する住民意識の低さ、全てを金で解決しようとする考え方やボランティアII偽善という誤った認識が本町にはある様な気がします。これらを変えていくことが社協の仕事かなあと 생각합니다。あたたかい心で今後の私の成長に期待して下さい。



上陽町社会福祉協議会 木村 育英

- 経験年数 四カ月
- 特技・趣味 テニス
- メッセージ

平成9年4月より上陽町社会福祉協議会に入りました。

何分にも、今まで福祉にたずさわる学問はやっておらず、分からない事ばかりで毎日が勉強です。

その中で現在、実際に地域福祉活動をやるという場合、いったい何をやらばよいのであろうかと悩んでいる事がほとんどです。

この悩みから早く脱出できるようにできるだけ自分の体をたくさん動かして行こうと思っています。

まだまだ未熟者ですので諸先輩方のご指導をお願いいたします。



筑紫野市社会福祉協議会 益永 秀二

- 経験年数 四ヶ月
- 特技・趣味 バイク、釣り、読書、映画鑑賞
- メッセージ

セールのポイント 態度はでかいが気が小さい

社協に就職して、五年目になります。未だに歯車になれず、せめて、それをスムーズに動かす潤滑油になれるように、日々努力しています。

しかし、潤滑油には交換が必要なので、皆様の中に溶け込めた頃には、交換されているかもしれません。

諸先輩から見れば、バックミラーにも映っていない私ですが、せめてバックミラーの点になれるように、努力したいと思っておりますので、ご指導をよろしくお願いいたします。



浮羽町社協 安元 康江

- 経験年数 二年
- 特技・趣味 読書

社協の仕事は範囲が広く、分からないことばかりで、とまどいながらの日です。一つ一つの経験を自分の仕事につなげていきたいと思っています。たくさんの方に会えることをうれしく思います。頑張っていきたいです。

